

戻る

|                    |      |
|--------------------|------|
| 第 3 0 回科学技術部会      | 資料 2 |
| 平成 1 8 年 4 月 1 9 日 |      |

平成19年度の厚生労働科学技術政策（案）について

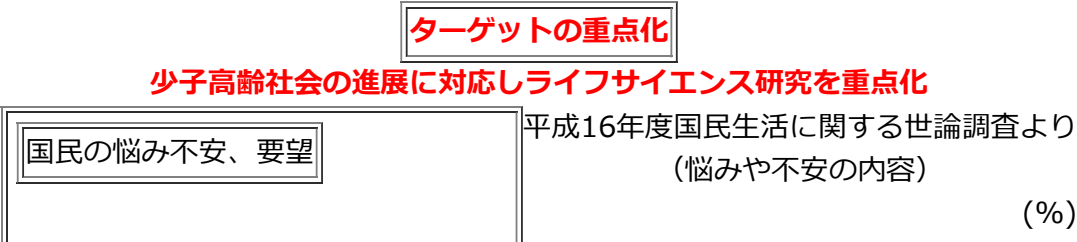
厚生労働省  
大臣官房厚生科学課  
平成 1 8 年 4 月 1 9 日

今後の予定

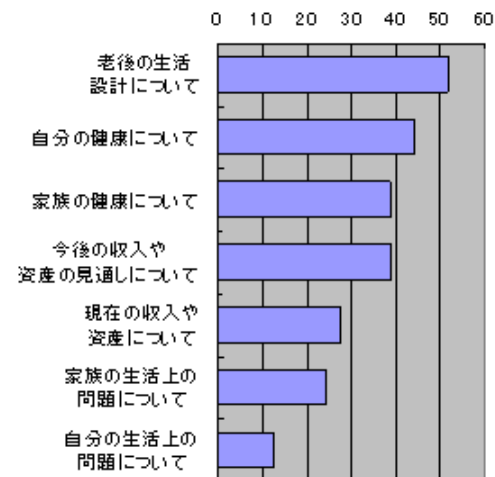
|       |   |
|-------|---|
| 4月19日 | 厚生科学審議会科学技術部会<br>・「平成 1 9 年度の厚生労働科学技術施策（案）について」検討 |
| 4月25日 | 総合科学技術会議  |
| 5月23日 | ・「平成 1 9 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」検討等            |
| 6月中   | 総合科学技術会議<br>・平成 1 9 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針     |

|     |  |
|-----|--|
| 6月中 | 厚生科学審議会科学技術部会<br>・平成17年度の厚生労働科学研究費補助金の成果の評価について    |
| 7月頃 | 厚生科学審議会科学技術部会<br>・平成19年度研究事業に関する評価（予算概算要求前の評価）について |
| 8月末 | ・平成19年度概算要求  |
| 9月  | 総合科学技術会議<br>・科学技術関係施策の優先順位付け                       |

厚生労働科学技術研究の方向性について



「老後の生活設計」  
「健康」  
「医療・年金等の社会保障構造改革」  
(内閣府調査)



国民のニーズに沿う最も効果的な領域は

「健康安心の確保」

「医療等持続可能な社会保障の構築」



健康フロンティア戦略の策定

健康寿命の延伸  
医療費の適正化  
健康安全の確保

アプローチの改善

課題を解決するための研究推進方策について

- (1)政策目的志向型研究の更なる推進
- (2)成果に直結する効果的・効率的な研究手法の開発

→ 治験を含む臨床研究の推進

→ 「戦略型研究」の推進

- ・ 成果目標を設定した5年間程度の大規模研究

- ・戦略的な資金配分を行い、確実な課題解決を誘導

【例】自殺関連うつ対策戦略研究

糖尿病予防のための戦略研究

→平成18年度は戦略型研究を2課題拡充、プロジェクト提案型研究の開始等さらなる推進を図る

### (3)人材の育成

質の高い研究成果を創出できる人材の体系的な育成疫学／統計学の専門家等の研究基盤を支える専門家の育成

→臨床研究の推進といったニーズに対応

政策的に必要な科学研究を戦略的に推進

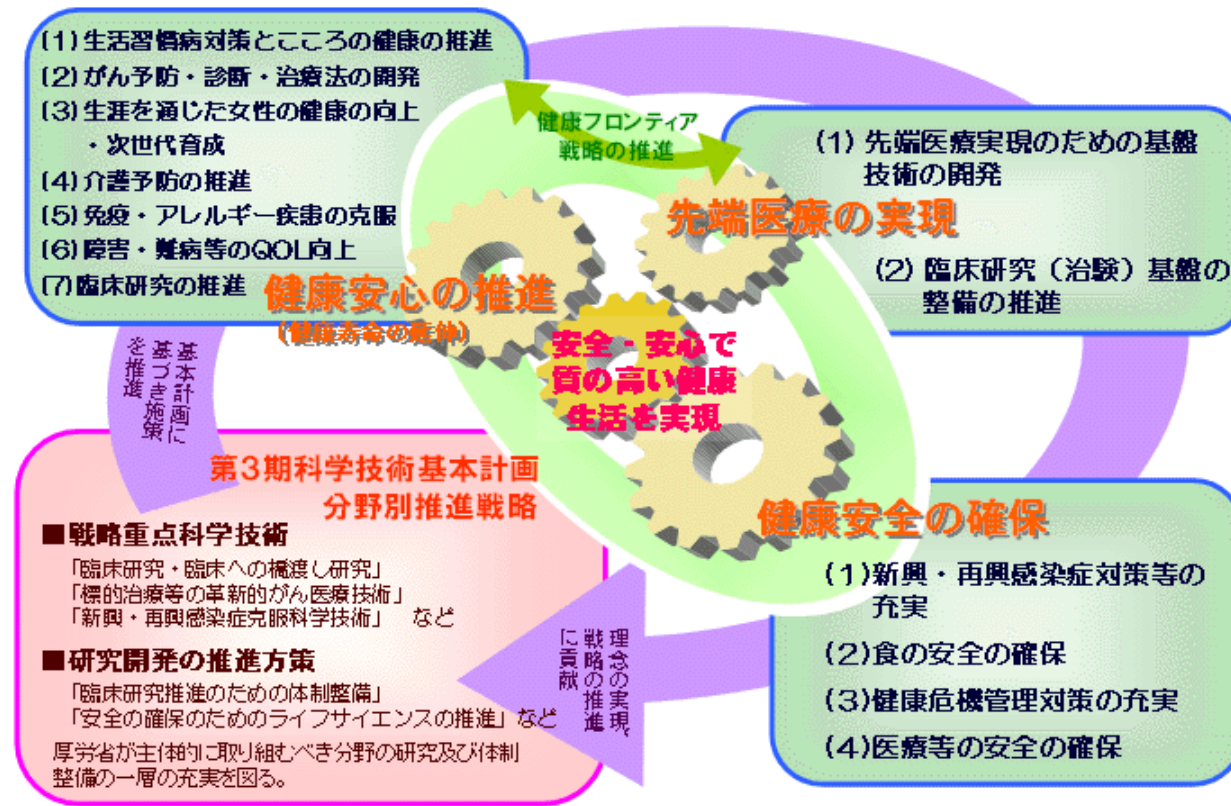
---

## 第3期科学技術基本計画を踏まえた厚生労働省の取り組み

## 第3期基本計画(H18～22)と厚労省の関係



平成19年度の厚生労働省の科学技術研究の推進の基本的考え方



参考

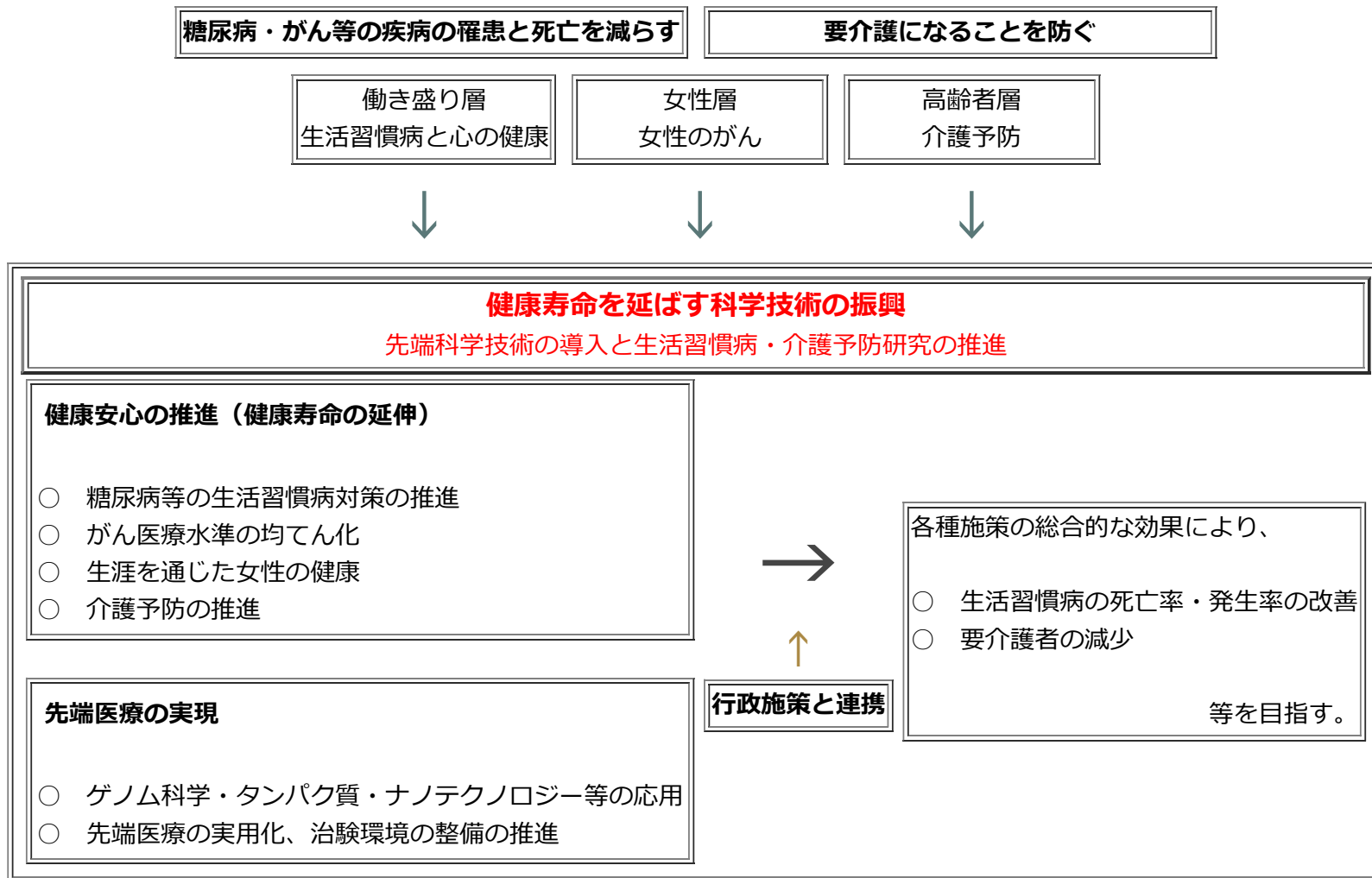
### 健康フロンティア戦略の策定（健康寿命を伸ばす科学技術の振興）

（平成17年度～平成26年度）

#### 我が国は超高齢化社会への道

10年後の平成27年（2015年）には、高齢者数が3300万人と予測  
「明るく活力ある社会」を構築と「健康寿命」の延伸へ



[トップへ](#)[戻る](#)